

日本と世界の未来を支える国語の力

日本社会の未来を築き、世界のモノカルチャー化を抑止する

施 光恒 (せ てるひさ) 先生による講演と懇談の集い

日本語は、漢字という表意文字とカナ・ひらがなという二種類の表音文字を持つ、奥深く豊かな言語です。現在のように英語教育の強化が進む一方で戦後以来の国語教育が放置されたままでは、日本語が知的なことを論じたり、研究したりする言語ではなくなってしまい、日本人の創造性が大きく失われていく懸念があります。

一国の中でエリート層と一般の人たちの中で使う言語が違ってしまうと、意思疎通が十分できず、世論がきちんと形成されません。その結果は民主主義を危うくし、社会の分断を招きます。日本の若者が知的創造力(真のイノベーションへの資質)を高めつつAI時代を乗り切っていくために、そして、英語による世界のモノカルチャー化を抑止し、日本が世界の文化の多様性を支える国であり続けるために、日本語のあり方を見直し、国語教育の抜本的な改革を進めることが必要ではないでしょうか。

九州大学准教授の施 光恒氏の講演と国語教育問題懇談会座長の愛甲次郎氏によるコメントで、世界の中での日本語を見直す絶好の機会になると考えます。ぜひご参加をお待ち申し上げます。

日時 平成30年12月17日(月) 午後7時～9時(受付開始午後6時30分)

場所 31Ventures Clipニホンバシ 東京都中央区日本橋本町3-3 Clipニホンバシビル1階

定員 50名

(講師)

施 光恒(せ てるひさ)氏

略歴

昭和46年、福岡市生まれ、福岡県立修猷館高校、慶應義塾大法学部卒。英シェフィールド大修士課程修了。慶應義塾大大学院法学研究科博士課程修了。法学博士。専攻は政治哲学、政治理論。著書『英語化は愚民化 日本の国力が地に落ちる』集英社新書、『本当に日本人は流されやすいのか』角川新書など。



(コメンテータ)

愛甲 次郎(あいこうじろう)氏

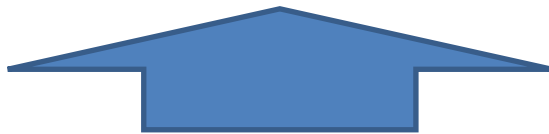
略歴

昭和30年、東京大学卒業。同年通産省入省。海外勤務5回、ハーヴァード大学でフェロー1年。資源エネルギー庁次長、駐クウェイト大使で退官。ソニー入社。専務の後顧問。平成15年「文語の苑」を立ち上げ理事長、現在「国語教育問題懇談会」座長



主催 世界のための日本のこころセンター
申込 先着順 (12/10締切) 裏面申込みにご記入のうえ、FAXもしくはメールでお送り下さい。
会費 2000円
申込先 世界のための日本のこころセンター 担当: 根本
メール nemoto@jizai.co.jp
FAX 045-663-5497
ホームページ <http://jpkokoro.com/>

申込書



FAX: 045-663-5497

E-mail: nemoto@jizai.co.jp

※お申込み書の送信とともに、下記口座にお振込みいただいた方を正式申し込みといたします。(2,000円)

※お申込み、お振込み共に12月10日(月)までにお願います。

※お振込み費用は、恐れ入りますがお申込者においてご負担くださいますようお願いいたします。

振込口座: 三菱UFJ銀行 横浜支店 4671150

ご氏名	フリガナ	住所	〒
職業(会社名) (任意)		ご所属 (任意)	
TEL		Email	
ご参加の動機			

◇会場アクセス



東京都中央区日本橋本町3丁目3-3
Clipニホンバシビル1階
※江戸通りに面する3階建てのビルの1階です。

- 銀座線 三越前駅 / 徒歩3分
- JR総武本線 新日本橋駅 / 徒歩1分
- JR 神田駅 / 徒歩7分
- 日比谷線 小伝馬町駅 / 徒歩8分